

ぶれなかつた 勝つた

第22回参議院選挙

2010年7月11日、投票が行われた第22回参議院選挙において、看護の職能代表たかがい恵美子候補は、21043票を獲得。自民党比例代表のうち第4位、比例代表全体では13位。みごとに当選！ 比例代表に立候補した医療福祉関係者のなかでも、最高得票数でした。



7月11日、民放各社では午後8時半ごろに当選確実が出ていたが、NHKではなかなか出ず、結局午前0時を回ってしまった。NHKの当選確実が出たのは午前1時ごろ。ようやく待ちに待った万歳ができた。

2009年5月19日、日本看護協会総会の終了後、たかがい恵美子前常任理事は次期参議院に出馬を表明。「この現状を変えたい。みなさまと一緒にがんばりたい」と挨拶。会場から大きな拍手が寄せられた。

2009年6月2日。日本看護連盟通常総会において、たかがい恵美子さんを看護の組織代表に決定。日本看護連盟および全国看護連盟はたかがい恵美子さんを総力をあげて応援することを誓った。



精力的に全国各地を巡り、現場で活躍する仲間たちと交流し、意見交換を行った。

順風満帆のスタート?

2009年5月19日、新潟市で開催された日本看護協会の総会。総会終了後、久常節子会長は、日本看護協会常任理事を退任した、たかがい恵美子さんが組織代表として次期参議院候補になると、会場の参加者に紹介しました。会場からは大きな拍手が起りました。南野知恵子参議院議員はすでに次期選挙へ出馬しないことを表明しており、たかがいさんは看護代表の議席を守る重責も担うことになりました。

続く6月2日、東京で行われた日本看護連盟の総会において、日本看護連盟は、組織代表としてたかがい恵美子さんを国政に送ることを決議しました。たかがい候補は、ホップ・ステップ・ジャンプのホップ

12月9日、たかがい恵美子候補は自民党の公認を受けました。

日本看護協会とのねじれ

11月26日、日本看護協会は、たかがい恵美子候補を支持しないと公表しました。日本看護協会と日本看護連盟との、ねじれはマスコミからも注目を集めました。日本看護連盟は、当初の方針から、ぶれることなく、組織代表としてのたかがい恵美子候補を応援することを、改めて確認しました。

そのような喧噪のなかでも、たかがい候補は、着実に活動を進めていきました。精力的に全国を巡り、看護連盟会員に向けてブログやメールアドレスの発信、若手会員へのアピールをつづけ、外部に向けては、様々な団体へ支援を要請して回りました。また、インターネットを用いた新しいメディアにも積極的に取り組みました。

混迷する政治の動きのなかで

発足当初、民主党鳩山由紀夫内閣は国民から大きな期待

として、6、7月で全都道府県を訪問。各県で集会を開き、看護協会、看護連盟の役員を中心に看護職が多く参加しました。

政権交代IIと野党逆転

8月30日の衆議院総選挙において、自民党が大敗し、民主党政権が誕生しました。これまでの政権与党であった自民党を支援してきた日本看護協会、日本看護連盟にとっては、今後の組織のあり方について見直しを迫られることになりました。

しかし、一方で、組織代表としてたかがい恵美子候補予定者はずでに承認を受け、活動を開始して行きました。日本看護連盟は、現実的な選抜肢として、当初の方針どおりにたかがい候補をたて、参議院選挙に臨むことを選びました。

を持たれ、高い支持率を得ていました。自民政権ではなれなかつた「何か」を行ってくれるだろうという期待感でした。しかし、鳩山総理・小沢幹事長の政治資金疑惑、沖縄米軍基地問題などで支持率は日増しに低下し、参議院選挙を目前に控えている6月2日、鳩山総理は辞任を表明。代わって総理大臣になったのは菅直人財務大臣でした。内閣の顔ぶれはほとんど変わらないのに、急低下していた内閣支持率が持ち直してしまいました。

ところが、菅総理大臣も消費税問題で迷走。自民党有利の声も聞かれはじめましたが、自民党も今一つ元気がありませんでした。

選挙戦スタート

2010年6月24日参議院選挙が公示され、選挙戦の火蓋が切って落とされました。たかがい候補は、表参道の日本看護協会ビルから選挙カーに乗り込み、全国の遊説に向かいました。

そして、看護連盟全会員悲願の勝利！ 看護代表としては20年ぶりの新人、たかがい恵美子参議院議員が誕生しました。



自民党の公認を受け、谷垣総裁と固い握手を交わす。



自民党大会で小泉進次郎衆議院議員と。



明治神宮へ必勝祈願の初詣。



浅草雷門の前で雨の中、街頭演説。

6月24日、出陣式。



仙台での集会に、地元の方々が大挙して駆けつけてくれた。



加藤紘一衆議院議員のホームページに掲載されるビデオ対談を収録。



選挙戦最終日の7月10日は、地元宮城に入りマイク納めとなった。



谷垣総裁、大島幹事長(当時)との対談はustreamで実況中継された。



清水会長の会員へのメッセージ「私たちはぶれない、をN∞[アンフィニ]に掲載



南野知恵子前議員からバトンを受け取ることができた。参議院議員の誕生。